

【事例 H25-01-03】石川県小松市

小松市における自殺防止対策地域連携事業
＝ハートフル懇談会・いのちと心の部会の開催＝

地域の市民団体や関係団体との連携事業を行い、当市の自殺の現状及び相談窓口などの周知や、地域の声を自殺対策に反映させていくハートフル懇談会を設けた。

また市長をはじめとして、医療、法曹、人権、福祉、教育、行政などからなる小松市虐待等防止協議会の専門部会として「いのちと心の部会」を立ち上げ、以下について協議し各事業に発展させた。

①自殺防止対策の推進 ②関係機関・団体相互の連携及び情報交換 ③自殺発生状況やその背景の調査・分析 ④効果的な啓発・広報

【実施主体】石川県小松市

【大綱の分類】 様々な分野や専門家との連携

【事業予算】 413 千円

【利 点】

▼自殺対策について、それぞれの機関が持つノウハウや相談実施体制を知ることができ、相談ネットワークの構築が行える

【実施に至るまで】

【背景・必要性・理由の概要・等】

- ・当市における年間自殺者数が平成 22 年に著しく増加したため、自殺をめぐる現状と課題を明らかにするとともに、早急に自殺防止対策を講じるが必要となった。
- ・そこで、関係機関との連携を強化し、相談体制の充実を図るとともに、市民とともに自殺防止対策を総合的かつ効果的に推進することを目的に平成 23 年度より標記事業を開始した。
- ・当市における年間自殺者数は、平成 22 年に急増したもののその後は 22 人前後で推移している。平成 21～24 年の累計自殺者数でみる年代割合では県・国と比べ 50 歳未満の若い世代及び 60 歳代の自殺者割合が高い傾向にある。

【計画を立てる上での工夫・等】

地域の中で核となる市民団体や関係団体との連携事業を行い、自殺の現状について知ってもらう機会にするとともに、①地域で暮らす住民 ②市民団体 ③専門団体としての各視点から、自殺防止対策やその課題について意見交換や検討を行い、当市の自殺予防対策に反映させるとともに各団体においても、活動の中でできることから取り組んでもらえるよう努めた。

【具体的な内容・実施の過程】

1. ハートフル懇談会

小松市校下女性協議会や小松市けんこう推進委員会、民生委員、小松市老人クラブ連合会など地域で活躍する団体との懇談をとおして、当市の自殺の現状及び相談窓口などの周知や意見交換を行い、地域の声を自殺対策に反映させていくとともに、ネットワークの構築を図ることを目的に実施。

運営体制：各種団体に依頼し、役員会などの機会に合わせ実施。

2. いのちと心の部会

市民が安心して暮らせるまちの実現を目指し、総合的・効果的な自殺防止対策を推進するために開催。

構成：小松市医師会（精神科医）、民生委員、町内会連合会、石川県司法書士会、ハローワーク、警察、保健所、福祉事業所（精神）、教育センター、市関係各課

運営体制：市長をはじめとして、医療、法曹、人権、福祉、教育、行政などからなる小松市虐待等防止協議会の5つの専門部会のひとつとして立ち上げられたもの。部会では①自殺防止対策の推進に関すること ②関係機関・団体相互の連携及び情報交換に関すること ③自殺発生状況やその背景の調査・分析に関すること ④効果的な啓発・広報に関することなどについての協議を行う。2回／年開催。

【成果】

1. ハートフル懇談会

- ▼ 懇談会での意見交換をとおして、団体・個人として、地域の中でどのように活動していけば良いかを考える機会になっていた。また懇談会がきっかけで、参加者の所属する町で心の健康やゲートキーパーについての研修会が開催され地域への波及効果もみられた。

2. いのちと心の部会

- ▼ 自殺防止対策の検討を行うほか、事例検討などをとおして、それぞれの機関が持つノウハウや相談実施体制を知ることができ、相談ネットワークの構築に役立てることができた。また机上の議論だけではなく、具体的に活動する部会を目指し下記の事業を実施した。

① 部会員による合同相談会の開催

世界自殺予防デーに合わせ開催した「いのちと心のキャンペーン」において、精神科医・精神保健福祉士によるうつ病相談、法律に関する困りごと相談を実施。

② 相談先カードの充実

当市が作成する相談先カードに、市役所相談窓口の他、石川県司法書士会や警察、ハローワークなどの相談窓口を掲載し、必要な人の手に届くよう市内医療機関やスーパー、駅などのトイレに設置。

③ 部会員及び市役所職員のゲートキーパー合同研修会の開催

【補 足】

【課 題】

- ・ 今後は地域ぐるみで自殺防止対策の推進を図るため、市内中学2年生を対象に精神科医によるいのちの大切さを教える講演会を開催するほか、多くの市民に対しゲートキーパー研修を行っていく予定。

【事業種別】 強化モデル事業

【準備期間・人数】 準備期間 3~6 か月・人数 5 名

【予防段階】 1 次、2 次

【自治体規模】 人口 109 千人 (H24 年度) 財政規模 246 億円

【自治体負担率】 0%

【事業対象】 地域の市民団体（小松市校下女性協議会、小松市けんこう推進委員会、民生委員、小松市老人クラブ連合会 など）、小松市医師会（精神科医）、民生委員、町内会連合会、石川県司法書士会、ハローワーク、警察、保健所、福祉事業所（精神）、教育センター、市関係各課

【支援対象】 不安や悩みを抱える市民

【実施主体・問合せ先】 石川県小松市役所いきいき健康課

TEL:0761-24-8161

E-mail: kenkouka@city.komatsu.lg.jp

URL : <http://www.city.komatsu.lg.jp/>

【参考資料・文献】

- (ア) 石川県衛生統計年報 人口動態統計編
- (イ) 厚生労働省 人口動態統計
- (ウ) 警察庁自殺統計
- (エ) 相談先カード（小松市作成）

【作成日】 2017/4/20